

WEB参加も可能に！ 経済同友会の大きな魅力、ぜひご参加を

1974年から活動を続けている産業懇談会は、計848人が14グループに分かれ、月1回の例会を中心に交流を図っています。政治・経済・文化・科学・スポーツなど多彩な分野の外部講師による講演とメンバー自身による話題提供のほか、通常は視察できない施設見学なども活発に行っています。こうした活動を通じた経営者同士の肩肘を張らない交流や貴重な情報交換など、他に得難い場となっています。

14グループが創意工夫で自主運営

産業懇談会 代表世話人

稲野 和利

野村ホールディングス 顧問



産業懇談会は政策委員会と並ぶ活動の柱です。委員会があらかじめテーマを設定して議論し、その結果を世に問うのに対し、産業懇談会は創意工夫を活かし、14グループが自主運営していることが魅力だと思います。私が参加したのは経済同友会に入会し、副代表幹事となつてからのことで、「しまった、もっと早く加わればよかった」と思ったものです。

各グループで講演や施設見学、運営方法のベストプラクティスがあれば世話人会に持ち寄って情報共有し、そ

れに各グループが取り組むことで、全体の活性化になっています。

例えばテーブル配置をコの字型から円卓にし、よりコミュニケーションが図れるようにしたり、講演前にコーヒートークと称する軽い話題提供の時間を設けることで、参加者の会話が弾むような仕掛けをしたり。

コロナ禍の下、リアルな例会だけではなく、オンラインを組み合わせた運営にも取り組んでいます。その中からより良い運営アイデアが生まれてくることと思います。

産業懇談会は、ビジネスの利害なしで屈託なく意見交換ができる場です。例会が毎月決まった曜日、時刻に設けられていて、多忙な経営者でも日程のコントロールが可能です。いくつかのグループに顔を出してみ、自分に合った会を探す「お試し参加」もできるので、気軽に申し込んでみてください。

袴脱いで見識高め合い、人間関係築く

産業懇談会 代表世話人

江幡 真史

アドバンテッジリスクマネジメント 取締役



産業懇談会は経済同友会の基盤となる機能、ホームベースと位置付けられています。産業懇談会ができる以前、政策委員会のメンバーになるためには幹事であることが条件でした。幹事ではない会員は活動の場が自ずと限られました。そこで、全ての会員が参加できる場として産業懇談会ができたのです。さまざまな業界の一流の経営者同士が袴を脱いで見識を高め合い、人間関係を築いていけることが魅力となっています。政策委員会は設定テーマに応じて毎年主体的に委員が入れ替わるのに対し、産業懇談会は

望む限り在籍できます。自主運営を掲げる14グループのうち、自分の都合の良い日時のグループを選び、毎月一回ルーティン化された例会に出席します。メンバーは平均5年以上、私は13年間所属しています。

各グループの世話人が集まる「世話人会」は2014年に発足しました。それぞれの独自性は尊重しつつ情報を共有化し産業懇談会をより楽しく、参加しやすくするためのエンジンが世話人会だと考えています。

私の属する第3水曜は、メンバーによる話題提供には「失敗談を盛り込んで」と依頼しています。それによって胸襟を開いてコミュニケーションが図れるのです。施設見学会については、開業前の東京スカイツリーや東京国立博物館の文化財修復の部署など、最新の施設や通常では見学できない貴重な場を訪れることもできます。

所属メンバー参加率を高めていただくことで、未加入の方の参加も自ずと高まるのだと思います。

14グループがそれぞれに自主的な企画運営の下、多彩な活動を展開している。
初回は第1火曜と第1水曜の二つを紹介するのに続き、次号以降では他の12グループの魅力と活動ぶりをお伝えしていきますので、ご関心のあるグループにぜひご参加ください。

第1火曜グループ

楽しく有意義な講演に加え 情報交換や交流を深める場にも

■設立:1974年11月 ■メンバー数:47人



高橋 直樹

クレディセゾン
取締役副社長執行役員CHO



斎藤 聖美

ジェイ・ボンド東短証券
取締役社長



坂本 正彦

東京ワークシェア
最高顧問

「第1火曜グループ」は、穏やかな方が多く、ざっくりばらんな楽しいグループですので、若い方、女性の方などを含め、ぜひ多くの方にご参加いただきたいと思っています。例会では、講演を拝聴するだけでなく、講演の前後に経営に関する相談事も話せるのが魅力です。判断を迷ったときなどに背中を押してくださるようなアドバイスをいただけることもあります。

講演はメンバーと外部講師とのバランスを保って実施しています。それぞれの業界事情にも精通しているメンバーからのお話は「例会でしか聞けない」貴重な機会です。また、新入会員には入会のご挨拶とは別に講演をしていただいている、その方を知る良い機会にもなっています。これまでの外部講師の講演の中では、中国の「^{かつたつ}一带一路構想」についての専門家のお話やブロックチェーンの講演などがとても印象に残りました。最新情報を知ることができたのも有意義でした。このグループはとても和やかな雰囲気ですので、今さら聞けないようなことであっても、遠慮なく質問できるのも助かります。

コロナ禍で例会を開催しにくい状況になっていますが、私を含めた3人の世話人としては、やはりリアルな場をなくしたくないと思っています。皆さんがお集まりになるリアルな場は、さまざまな情報交換や先ほどもお話ししたように相談に乗っていただくこともでき、人間関係も深まるからです。

ぜひ、多くの皆さまのご参加をお待ちしています。

【斎藤 聖美】

第1水曜グループ

アンケート実施しメンバーの希望尊重 話題性に富む施設見学会も好評

■設立:1974年11月 ■メンバー数:72人



船津 康次

トランスコスモス
取締役会長兼CEO



安田 結子

企業統治推進機構
シニアパートナー



平野 英治

メットライフ生命保険
取締役 副会長

「第1水曜グループ」は、登録メンバーが増加傾向にあります(現在72人)。女性も12人にまで拡大し、多様かつ多彩なメンバーが集まるグループといえます。当グループの企画・運営は、メンバーの意見や希望を反映することを心掛けています。そのために、今後の例会活動への要望や関心のあるテーマ・講師候補のアンケート調査を毎年一回実施しています。2019年度は、経済、政治、企業経営、文化・芸術、国際関係など幅広いテーマを取り上げ、外部講師や話題提供者のメンバーとの自由闊達で^{かつたつ}フランクな意見交換を行いました。

講演に対する質疑応答もとても活発で、講演内容の理解が進み、メンバーの方にご満足いただいています。また、机上での意見交換だけではなく、年一回は、話題性があり、普段見る機会のない施設などの見学会を実施するなど、バラエティーに富む活動を展開しています。2019年度は、外部講師による会合を4回、メンバーによる話題提供を3回、見学会を1回行いました。

今年度は、新型コロナウイルスの感染拡大により、従来の形式での開催は困難になりましたが、産業懇談会の「さまざまな知見・情報を共有し、意見を交わし交流を深める」という趣旨を継続するべく、いち早くオンラインでの開催に踏み切りました。この状況は、今しばらく続くと思いますので、引き続きメンバーの安全を第一に、活動を切らすことなく行っていきたくと考えております。今後さらなる活動の活性化に向けて、皆さまのご参加を心よりお待ちしております。フランクで活発な雰囲気に必ずや満足いただけるものと思います。

【船津 康次】